

神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相 (IV).

各論第4部—種子植物門, 被子植物亜門, 単子葉植物綱—, 補遺

野寄玲児*, 熊取谷薫**, 北川智美**, 西原光恵**

**Flora of Higher Plants Native to the Okadayama Campus, Kobe College,
Western Japan (IV). Floral Description, Part 4
– Class Monocotyledoneae, Subdivision Angiospermae –, and a Supplement**

**NOZAKI Reiji, KUMATORIYA Kaoru,
KITAGAWA Tomomi, NISHIHARA Mitsue**

Abstract

The fourth issue of the flora of Okadayama Campus describes 181 plant species (including four hybrids) in 12 families belong to a class Monocotyledoneae, subdivision Angiospermae. Furthermore, 10 plant species, which were newly known or recently naturalized at the campus after publication of the 1st issue, were added to the flora. In total, 681 native or naturalized plants including 10 hybrids were recorded in the Okadayama Campus, Kobe College in Nishinomiya.

キーワード：フロラ, 単子葉植物, 種子植物, 岡田山キャンパス, 西宮市

Key words: flora, Monocotyledoneae, Spermatophyta, Okadayama campus, Nishinomiya city

*本学人間科学部環境・バイオサイエンス学科教授

**本学人間科学部人間科学科人間環境科学専攻卒業生

連絡先：野寄玲児 〒662-8505 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学人間科学部環境・バイオサイエンス学科
nozaki@mail.kobe-c.ac.jp

本報告は岡田山産高等植物目録の第Ⅳ報で、単子葉植物綱に所属する12科181種（4雑種を含む）、1亜種、6変種、1品種について解説するとともに、第Ⅰ報（野寄ほか 2006a）の出版以降に、本キャンパスで新たに生育が確認された在来種3種、定着が確認された帰化植物7種を追補した。その結果、岡田山キャンパス産の高等植物は、最終的に123科681種（雑種および絶滅種を含む）、3亜種、17変種、10品種となった（表1）。ただし、既に80種以上が何らかの原因でキャンパスから絶滅しているため、岡田山キャンパスの現存種数は600種程度となる。

本報に収録した植物の種名や学名は、第Ⅰ報から第Ⅲ報（野寄ほか 2006a, b, 2007）までと同様に、佐竹ほか編（1982, 1989）、大井（1983）、神奈川県植物誌調査会編（2001）、清水編（2003）を参考にした。また、原則としてイネ科草本については長田（1993）に、同タケ亜科については鈴木（1996）に、カヤツリグサ科スゲ属については勝山（2005）に準拠した。なお、兵庫県内における種の分布の概要については福岡ほか編（2007, 2008）を参照した。既存目録は前報と同じく、目録1（神戸女学院高等学部理科研究部編 1967）、目録2（岡田山の自然編集委員会編 1974）である。レッドリスト区分とその評価も、第Ⅲ報までと同様に、日本版（J：環境庁自然保護局野生生物課編 2000）および近畿版（KI：レッドデータブック近畿研究会編 2001）、兵庫県版（HY：兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課編 2003）の各レッドデータブックによった。その他、記号等の詳細については第Ⅰ報（野寄ほか 2006a）の「目録解説」の項を参照されたい。

表1. 神戸女学院岡田山キャンパスで記録された高等植物の種数（2009年3月末現在）

	科	属	種*	亜種	変種	品種	雑種	絶滅種**	現存種***
シダ植物門	18	27	47	0	2	1	0	6	41
種子植物門	105	358	634	3	15	9	10	76	558
裸子植物亜門	4	4	6	0	0	0	1	0	6
被子植物亜門	101	354	628	3	15	9	9	76	552
双子葉植物綱	89	265	447	2	9	8	5	58	389
離弁花亜綱	62	162	280	1	7	6	3	34	246
合弁花亜綱	27	103	167	1	2	2	2	24	143
単子葉植物綱	12	89	181	1	6	1	4	18	163
合 計	123	385	681	3	17	10	10	82	599

*種数には雑種の数を含み、亜種、変種、品種については、母種と共に分布するもの数を示す。

**既報（野寄ほか 2006a, b, 2007）において絶滅KC(E)とした種、およびその後絶滅が確認された種を含む。

***種数－絶滅種数。

ANGIOSPERMAE 被子植物亜門
MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物綱

112. Liliaceae ユリ科

Ophiopogonoideae ジャノヒゲ亜科

1. *Liriope platyphylla* F. T. Wang et Tang ヤブラン
在来 目録1・2 I・II・III・IV KK156.
暖温帯の森林に生育する常緑多年草。岡田山では各所の森林にやや普通。
2. *Liriope spicata* Lour. コヤブラン
在来 I・II HY (C), KC (C) 20199.
暖温帯の森林に生育する常緑多年草。岡田山ではI・II地区の林縁部にやや稀にみられる。兵庫県内の産地はごく少ない。
3. *Liriope minor* (Maxim.) Makino ヒメヤブラン
在来 I・II・IV KC (D) 19214, 19892.
暖温帯に生育する小型の常緑多年草。岡田山では明るい二次林や林縁にやや普通にみられるが、森林の遷移に伴って個体数が減少しつつある。
4. *Ophiopogon jaburan* (Kunth) Lodd. ノシラン
在来 I・II・III・IV KI (C), HY (B), KC (C) 19221, 19541*, 20159.
暖温帯の森林に生育する常緑多年草。岡田山では各所の森林にやや稀にみられる。兵庫県内の産地はごく少ない。
5. *Ophiopogon japonicus* (L. fil.) Ker Gawl. ジャノヒゲ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19442, 19871.
暖温帯に生育する常緑多年草。岡田山では各所の森林や林縁、庭園に普通。
VI. var. *umbrosus* Maxim. ナガバジャノヒゲ
在来 目録2 I・II・III・IV 19296, 19861, 20066, KK102.
走出枝を欠いて株立ち状になり、葉が長い変種。岡田山では各所の森林にやや普通。
6. *Ophiopogon planiscapus* Nakai オオバジャノヒゲ
在来 I HY (調), KC (B) 20195.
暖温帯～冷温帯下部の森林に生育する常緑多年草。岡田山では音楽館北側の林内に少数個体が生育する。東日本では普通の種であるが、兵庫県では要調査種とされ（兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課編 2003）、産地はごく少ない。近辺では西宮市山田町の二次林内にもみられる。

Melanthioideae シュロソウ亜科

7. *Tricyrtis affinis* Makino ヤマジノホトトギス
在来・絶滅 目録1・2 I† KC (E)
温帯の草原や明るい二次林に生育する夏緑多年草。目録1・2に記録があるが、今はみられない。遷移の進行に伴って絶滅したものと思われる。標本は採れていない。

Asphodeloideae ツルボラン亜科

8. *Hemerocallis fulva* L. var. *kwanso* Regel ヤブカンゾウ
在来 I・II・IV 19435, 20137.
田畑や河川の周辺、林縁に生育する夏緑多年草。岡田山では各所の林縁にやや稀にみられるが、自生

か植栽かは不明である。

Aletoroideae ソクシンラン亜科

9. *Aletris luteoviridis* (Maxim.) H. Hara ノギラン

在来 目録2 I[†]・II KC (A) 19285, 19857.

湿地や湿った林縁に生育する夏緑多年草。岡田山ではII地区の湧水湿地に少数個体がみられる。

Allioideae ネギ亜科

10. *Allium tuberosum* Rottl. ex Spreng. ニラ

逸出 III・IV 19550, KK174, 20154.

原産地不明の栽培される夏緑多年草。岡田山ではIII・IV地区の路傍に稀。

11. *Allium grayi* Regel ノビル

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19100, KK61.

路傍に生育する夏緑多年草。岡田山では各所の路傍にごく普通。東アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1997)。

12. *Allium thunbergii* G. Don ヤマラッキョウ

在来・絶滅 目録2 I[†] KC (E)

明るい草原や湿地の周辺に生育する夏緑多年草。目録2に記録があるが、今はみられない。標本は採れていない。

13. *Nothoscordum gracile* (Aiton) Stearn ハタケニラ

帰化 I・II・IV 20054.

都市部の石垣などに生育する北アメリカ原産の多年草。構外の河川や側溝の石垣に普通。第I報(野寄ほか 2006a)では一時帰化種としていたが、最近では各所でみられるようになった。

14. *Ipheion uniflorum* (Lindl.) Raf. ハナニラ

帰化 I・II・III 19978.

草地や路傍に生育する南アメリカ原産の多年草。栽培品の逸出によるもので、岡田山では各所の庭園や路傍に普通。

Lilioideae ユリ亜科

15. *Amana edulis* (Miq.) Honda アマナ

在来 III KC (A) 19666*.

草地に生育する多年草。岡田山ではエッジウッド館南側の樹陰に小集団がみられる。毎年3月から5月上旬までの短期間のみ葉を出し、開花する春植物である。

16. *Lilium lancifolium* Thunb. オニユリ

在来・逸出 III 20071.

人家の近くに生育する大型の夏緑多年草。岡田山キャンパスでは外周道路に接するIII地区の石垣に生育しているが、付近の民家からの逸出と考えられる。

H1. *Lilium × formolongo* Hort. (*L. formosanum* × *L. longiflorum*) シンテツポウユリ(雑種)

帰化 I・IV 19445, 20070.

台湾産のタカサゴユリ *L. formosanum* Wallace とテツポウユリ *L. longiflorum* Thunb. との雑種起源(木場・高橋 2001)とされる夏緑多年草。近年、都市部の道路法面や石垣などで増加している。岡田山では庭園や石垣に稀に発生する。

Scilloideae ツルボ亜科

17. *Scilla scilloides* (Lindl.) Druce ツルボ
在来 目録2 I・II・III・IV KC (D) 19516, 20160.
原野や路傍に生育する冬緑多年草。岡田山では各所の林縁や樹木のある庭園にやや普通。

Asparagoideae クサスギカズラ亜科

18. *Reineckea carnea* (Andr.) Kunth キチジョウソウ
在来 II KC (B) 19325, 19960.
暖温帯の森林に生育する常緑多年草。岡田山ではII地区の林縁に小集団がみられる。県内の産地は比較的少ない。
19. *Rohdea japonica* (Thunb.) Roth オモト
在来 I・II・III・IV 19777.
暖温帯の森林に生育する常緑多年草。岡田山では各所の林内にやや稀にみられる。
20. *Aspidistra elatior* Blume ハラン
逸出 I・II・III・IV 19971.
中国および九州南部原産(迫・丸野 1983)の常緑多年草。葉は食品を包むのに用いられるので各地で植栽され、人家近くの林縁などに逸出している。岡田山では各所の林縁や林内にやや稀。
21. *Polygonatum falcatum* A. Gray ナルコユリ
在来 目録1・2 I・II[†] KC (A)
明るい森林や草地に生育する夏緑多年草。音楽学部1号館北側の草地に少数個体がみられるが、本来の自生か過去の植栽かは明らかでない。標本は採れていない。

Smilacoideae シオデ亜科

22. *Smilax china* L. サルトリイバラ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19215, 19650, 19651.
二次林や林縁、草地に生育する大型の夏緑性つる草本。岡田山では各所の林縁や林内にごく普通。
23. *Smilax biflora* Siebold ex Miq. var. *trinervula* (Miq.) Hatus. サルマメ
在来 I HY (C), KC (A) 20191.
明るい草原に生育する夏緑多年草。岡田山では音楽館北側の草地に小集団がみられる。県内の産地はごく少なく、六甲山地の植物誌(小林ほか 1998)にも記録がない。

113. Amaryllidaceae ヒガンバナ科

24. *Narcissus tazetta* L. var. *chinensis* M. Roem. スイセン (ニホンズイセン)
逸出 I・II・III・IV
地中海地方の原産で、古代に中国から伝わったとされる多年草。海岸付近の草地に野生状態で群生するほか、観賞用に植栽されたものが各地で逸出している。岡田山でも各所の林縁や路傍に普通。
25. *Lycoris radiata* Herb. ヒガンバナ
在来 目録2 I・II・III・IV 19525, KK183.
田畑の周辺や路傍に生育する冬緑多年草。岡田山では各所の庭園や林縁に普通。古い時代に中国大陸から渡来した史前帰化植物(前川 1943)と考えられている。
26. *Lycoris albiflora* Koidz. シロバナマンジュシャゲ
在来 I・II・IV KC (B) 19535, KK182.

路傍に生育する冬緑多年草。岡田山では各所の庭園に稀。ヒガンバナとショウキズイセン *L. traubii* Hayward との雑種起源と推定されており (牧野 1943), 本来の自生地は済州島や九州北部とされる。

114. Dioscoreaceae ヤマノイモ科

27. *Dioscorea japonica* Thunb. ヤマノイモ
在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (C) 19613, 20148.
明るい二次林や林縁などに生育する夏緑性つる草本。岡田山では各所の林縁にやや稀。
28. *Dioscorea batatas* Decne. ナガイモ
帰化 I・II・III・IV 19187, 19463.
林縁や路傍に生育する中国原産の夏緑性つる草本。岡田山では各所の林縁に普通。
29. *Dioscorea tokoro* Makino オニドコロ
在来 目録2 I・III[†] KC (A) 20190.
明るい二次林や林縁などに生育する夏緑性つる草本。岡田山ではI地区の森林に1株のみ生育する。
30. *Dioscorea quinqueloba* Thunb. カエドコロ
在来 II・III KC (B) 19191S, 19862.
林縁に生育する夏緑性つる草本。岡田山ではII・III地区の林縁に少数個体が生育する。

115. Iridaceae アヤメ科

31. *Iris japonica* Thunb. シヤガ
在来 目録2 I・II・III・IV 19972.
スギ植林などに多い常緑多年草で、観賞用に栽培されたものが逸出したとされる。岡田山では各所の林縁にやや稀。
- H2. *Tritonia × crocosmiflora* (Lemoine) G. Nicholson (*T. aurea* × *T. pottsii*) ヒメヒオウギズイセン (雑種)
帰化 I・II・IV 19445, 20070.
林縁に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では各所の林縁にやや普通。ヒオウギズイセン *T. aurea* Pape. とヒメトウショウブ *T. pottsii* Benth. を交雑してつくられた園芸植物 (諏訪 2001)。
32. *Sisyrinchium rosulatum* E. P. Bicknell ニワゼキショウ
帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19101, KK41.
路傍に生育する北アメリカ原産の多年草。岡田山では路傍や空き地に普通。本種の学名には *S. atlanticum* E. P. Bicknell があてられることが多いが、Yamaguchi & Hirai (1987) に従って *S. rosulatum* としておく。花には赤紫色と白色の2型がみられる。
33. *Sisyrinchium* sp. オオニワゼキショウ
帰化 I・II・III・IV 19725.
路傍や空き地に生育する多年草。岡田山ではここ10年ほどの間に急に目立つようになり、今では庭園等にごく普通。本種の学名は未だ定かでないようなので、Yamaguchi & Hirai (1987) に従って *S. rosulatum* に近縁な不明種としておく。ニワゼキショウよりも半陰の環境に多くみられる。

116. Juncaceae イグサ科

34. *Juncus bufonius* L. ヒメコウガイゼキショウ
在来・絶滅 I[†]・IV[†] KC(E) 19115, 19705, 19856*, KK97.
水田や河川の水湿地に生育する1年草。本学院が所有していた放棄水田 (岡田山3丁目) に群生していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。兵庫県内の産地は比較的少ないが、西宮市内の武庫

川水系の水田には今もやや稀にみられる。なお、IV地区の記録はグラウンドへの一時帰化である。

35. *Juncus tenuis* Willd. クサイ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19129, 19744.
湿った路傍に生育する多年草。踏圧のかかる環境に多く、岡田山ではグラウンドや藤棚周辺をはじめ各所の路傍に普通。
36. *Juncus effusus* L. var. *decipiens* Buchenau イ (イグサ)
在来 目録1・2 I・II・IV KC (C) 19363, KK68.
湿地に生育する多年草。岡田山では四十谷川沿いや各所の側溝等の水湿地にやや稀。
37. *Juncus setchuensis* Buchenau var. *effusoides* Buchenau ホソイ
在来 II・IV 19400, KK98.
路傍に生育する多年草。岡田山ではグラウンド等にやや稀にみられる。
38. *Juncus leschenaultii* Gay ex Laharpe コウガイゼキシヨウ
在来 目録1・2 I・II・IV KC (C) 19034, 19114, 19724, 19733.
水田や河川の水湿地に生育する夏緑多年草。本学院が所有していた放棄水田(岡田山3丁目)に群生していたほか、音楽学部1号館前の側溝に小集団がみられる。
39. *Luzula capitata* (Miq.) Miq. スズメノヤリ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19090, 19700, 19968, KK1, KK17.
明るい草地や路傍に生育する多年草。岡田山では各所の庭園や路傍にごく普通。

117. Commelinaceae ツユクサ科

40. *Pollia japonica* Thunb. ヤブミョウガ
在来 目録2 II・III KC (B) 19280, 19874.
暖温帯域の湿った林縁に生育する夏緑多年草。岡田山ではダッドレー館周辺(II地区)のモウソウチク林に小集団がみられる。
41. *Commelina communis* L. ツユクサ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19307, KK112.
湿った路傍に生育する1年草。岡田山でも各所の路傍や林縁にやや普通。東アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1997)。
42. *Murdannia keisak* (Hassk.) Hand.-Mazz. イボクサ
在来・絶滅 目録1・2 I[†]・II[†]・IV[†] KC (E)
水田や河川の水湿地に生育する1年草。本学院が所有していた放棄水田(岡田山3丁目)に群生していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。標本は採れていない。
43. *Tradescantia fluminensis* Vell. トキワツユクサ (ノハカタカラクサ)
帰化 I・II・III・IV 19410, KK96.
林縁に生育する南アメリカ原産の常緑多年草。観賞用に栽培されたものが逸出した。岡田山では各所の林縁にごく普通で、同じく林縁に生育する地中海地方原産のツルニチニチソウとともに駆除が難しい厄介な雑草となっている。

118. Poaceae (Gramineae) イネ科

Bambusoideae タケ亜科

44. *Phyllostachys heterocyclus* Matsum. forma *pubescens* (J. Houz.) D. C. McClint. モウソウチク
 帰化 目録 1・2 I・II・III・IV 20036.
 江戸時代に渡来したとされる中国原産の大型のタケで、基準品種 forma *heterocyclus* は栽培品のキッコウチク (McClintock 1983). 岡田山では、院長公舎北側およびダッドレー館周辺、社交館西側斜面など、各所に群落がみられる。
45. *Phyllostachys nigra* (Lodd.) Munro var. *henonis* (Bean) Stapf ハチク
 在来・逸出 目録 1・2 II・IV 20046.
 日本、朝鮮南部、中国に分布する大型のタケ。原産地は定かではないが、鈴木 (1996) は中国原産としている。基準変種 var. *nigra* は栽培品のクロチク。岡田山では、四十谷川沿いの西側斜面に大規模な群落がみられるほか、院長公舎北側、ダッドレー館周辺にも小集団がみられる。
46. *Phyllostachys bambusoides* Siebold et Zucc. マダケ
 在来・逸出 目録 1・2 I・II・III・IV 19433S, 20047.
 日本原産と推定される大型のタケ。岡田山では、四十谷川沿いの西側斜面 (北寄り) に群落がみられるほか、院長公舎北側、デフォレスト館南側などにも小集団がみられる。
47. *Pleioblastus simonii* (Carrière) Nakai メダケ
 在来 目録 1・2 I・IV 19134, 19963.
 川沿いの林内や林縁に生育する大型のササ。岡田山では万葉池の周辺にみられるほか、西側斜面のエノキムクノキ林内に群生する。
48. *Pleioblastus chino* (Franch. et Sav.) Makino var. *viridis* (Makino) S. Suzuki ネザサ
 在来 I・II・III・IV 19409S.
 二次林や林縁に生育する大型のササ。葉や葉鞘、節間、稈鞘などはほぼ無毛。岡田山では各所の二次林内や林縁に普通。
49. *Pleioblastus shibuyanensis* Makino ex Nakai var. *basihirsutus* S. Suzuki ケネザサ
 在来 目録 1・2 I・II・III・IV 19424S, 19425S, 19875S.
 二次林や林縁に生育する大型のササ。葉面、とくに下面に細毛が密生するが、葉鞘、節間、稈鞘はほぼ無毛。節に毛があることで基準変種のシブヤザサ var. *shibuyanensis* から区別されるが、節に毛のない個体も普通にみられる。岡田山では各所の二次林内や林縁にごく普通で、岡田山産の4種のネザサ節 sect. *Nezasa* Koidzumi の中で最も個体数が多い。
50. *Pleioblastus nagashima* (Hort. ex Mitford) Nakai ヒロウザサ
 在来 I・II・III 20119S.
 二次林や林縁に生育する大型のササ。葉鞘、節間、稈鞘に逆向きの細毛があり、葉の下面は無毛。岡田山では各所の二次林内や林縁にやや普通。葉鞘と節に毛を欠くエチゼンネザサ var. *koidzumii* (Makino ex Koidzumi) S. Suzuki に相当する型もみられる。
51. *Pleioblastus viridi-striatus* Makino var. *kongosanensis* (Makino) D. C. McClint. コンゴウダケ
 在来 I・II・III・IV 19422S, 19423S, 19876S.
 二次林や林縁に生育する大型のササ。葉面から葉鞘、節間、稈鞘などほぼ全面に細毛が密生する。岡田山では各所の二次林内や林縁にケネザサとともにごく普通。基準変種 var. *viridi-striatus* は栽培品のカムロザサ (McClintock 1982)。

52. *Sasa tsuboiana* Makino イブキザサ (アマギザサ)
在来 I KC (C) 19268, 19837S, 20106S.
イブキザサ節 sect. Moniliclae Nakai に所属する大型のササで、温帯林の林内や林縁に生育する。文学部1号館東側の樹林内に群生するが、本来の自生か否かは明らかでない。

* 目録1・2にヤダケ *Pseudosasa japonica* (Siebold et Zucc. ex Steud.) Makino (II・IV地区) の記録があるが、今は見られない。メダケもしくはネザサ節のササ類との誤同定が考えられる。

* 市道今津西線近くの西側斜面 (I地区) にホソバトウチク *Sinobambusa tootsik* (Siebold) Makino, 万葉池の周辺 (I地区) にクマザサ *Sasa veitchii* (Carrière) Rehder, 理学館西側の斜面 (IV地区) にチマキザサ *Sasa palmata* (Bean) Nakai の群落があるが、何れも植栽起源のものと思われる。

Pooideae イチゴツナギ亜科

53. *Festuca ovina* L. var. *coreana* (St.-Yves) St.-Yves アオウシノケグサ
在来・絶滅 目録1・2 I†・II†・IV† KC (E)
明るい二次草原に生育する夏緑多年草。目録1・2に記録 (目録1ではウシノケグサ *F. ovina* L.) があるが現在はみられず、草地の減少により絶滅したものと考えられる。標本は採れていない。近辺では西宮市山田町の棚田土手にみられる。
54. *Festuca rubra* L. オオウシノケグサ
帰化 III・IV 19728, 19784.
Red fescueとして緑化用に播種され、路傍に生育するユーラシア原産の多年草。日本でも海岸や高山などには自生品があるが (長田 1993)、岡田山のものとは帰化品と考えられ、庭園草地にやや稀。
55. *Festuca heterophylla* Lam. ハガワリトボシガラ
帰化 III・IV 19729, 20043.
路傍や空き地に生育するヨーロッパ・西アジア原産の多年草。岡田山では、III・IV地区の台地面の路傍や庭園にやや稀にみられる。
56. *Festuca parvigluma* Steud. トボシガラ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19125, KK57.
林縁や草地に生育する夏緑多年草。岡田山では各所の林縁や庭園、路傍等に普通。
57. *Festuca arundinacea* Schreb. オニウシノケグサ
帰化 目録2 I・II・III・IV 19385, KK86.
Tall fescueとして緑化用に播種され、路傍に生育するヨーロッパ・西アジア原産の多年草。岡田山では各所の路傍や庭園、緑化法面等にごく普通。
58. *Lolium multiflorum* Lam. ネズミムギ
帰化 I・II・III・IV 19385, KK86.
Italian rye-grassとして緑化用に播種され、路傍に生育するヨーロッパ原産の1~2年草。岡田山では各所の路傍や緑化法面に普通。
59. *Lolium perenne* L. ホソムギ
帰化 I・II・III・IV 19141, 19370, KK101.
Perennial rye-grassとして緑化用に播種され、路傍に生育するヨーロッパ・西アジア原産の多年草。岡田山では各所の路傍や庭園、緑化法面等に普通。

60. *Vulpia myuros* (L.) C. C. Gmel. ナギナタガヤ
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19068, 19394, KK58.
 路傍や空き地に生育するヨーロッパ・西アジア原産の1年草。岡田山では各所の路傍や空き地、庭園などにごく普通。
61. *Briza maxima* L. コバンソウ
 帰化 I・III・IV 19358, 19739.
 畑地や路傍に生育する地中海地方原産の1年草。岡田山では近年になって路傍や空き地に増え始めた。
62. *Briza minor* L. ヒメコバンソウ
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19102, 19676.
 路傍や草地に生育する地中海地方原産の1年草。岡田山では各所の路傍や空き地にやや普通。
63. *Poa annua* L. スズメノカタビラ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19375, KK26, KK32.
 田畑の周辺や草地、路傍等、いたる所に生育する小型の1年草。岡田山ではグラウンドをはじめ、各所の路傍や空き地、庭園草地にごく普通。
64. *Poa nepalensis* (Wall. ex Griseb.) Duthie var. *nipponica* (Koidz.) Soreng et G. H. Zhu オオイチゴツナギ
 在来・絶滅 III[†] KC (E) 19710, 19730.
 林縁に生育する1年草。岡田山では、III地区の林縁に少数個体が生育していたが、近年は確認できず、絶滅したものと思われる。なお、目録1・2のオオイチゴツナギ(II・III・IV地区)の記録は次のミゾイチゴツナギ *P. acroleuca* Steud. の誤認と考えられる。
65. *Poa acroleuca* Steud. ミゾイチゴツナギ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19022, 19103, 19685.
 湿った林内や林縁に生育する1年草。岡田山では各所の林縁や樹木のある庭園に普通。
66. *Poa trivialis* L. オオスズメノカタビラ
 帰化 I・II・III・IV 19731, 19732, 19788.
 路傍や空き地、河川敷等に生育するヨーロッパ・西アジア原産の多年草。岡田山では各所の路傍や空き地、緑化法面にやや稀。
67. *Poa sphondylodes* Trin. イチゴツナギ
 在来 目録1・2 I[†]・II[†]・IV KC (A) 19452, 19822, 20044.
 林縁や原野に生育する多年草。近年少なくなった植物の一つで、岡田山では四十谷川沿いの林縁に少数個体がみられるに過ぎない。
68. *Poa compressa* L. コイチゴツナギ
 帰化 I 20197.
 路傍や空き地に生育するヨーロッパ原産の多年草。西側崖地下の空き地に近年発生している。
69. *Poa pratensis* L. ナガハグサ
 帰化 目録2 I・II・III・IV 19091, 19104, KK33, 20120.
 Kentucky bluegrassとして芝生に用いられ、路傍や草地に生育するユーラシア原産の多年草。岡田山では各所の路傍や庭園草地、グラウンドなどに普通。ケナガハグサ var. *hirsuta* Asch. et Graebn. に相当する標本(20120; III地区)もあるが、母種と連続するとの報告も多いのでとくに区別しないでおく。

70. *Poa subcaerulea* Sm. ミスジナガハグサ
 帰化 Ⅲ 20032, 20055.
 草地や路傍に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では新寮周辺の芝生で稀にみられることから、緑化材の夾雑種子に由来するものと推測される。
71. *Dactylis glomerata* L. カモガヤ
 帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19343, KK34.
 Orchard grassとして緑化用に播種され、路傍や空き地に生育するヨーロッパ・西アジア原産の多年草。岡田山では各所の路傍や空き地、緑化法面等にごく普通。
- *目録1・2にドジョウツナギ *Glyceria ischyronoura* Steud.(IV地区)の記録があるが、今はみられず標本も残されていない。河川の水際に生育する種であり、コンクリート三面張りに改修される前の四十谷川には自生していた可能性がある。
72. *Trisetum bifidum* (Thunb.) Ohwi カニツリグサ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (D) 19127, KK66.
 草地に生育する多年草。岡田山では音楽学部1号館北側や文学館周辺、ケンウッド館周辺など、半陰の草地や庭園にやや普通。
73. *Aira caryophyllea* L. ヌカススキ
 帰化 I 20198, 20212.
 路傍や空き地に生育するユーラシア原産の小型の1年草。西側崖地下の空き地に近年群生している。
74. *Aira elegans* Willd. ex Gaudin subsp. *ambigua* (Arcang.) Holub ヒメヌカススキ
 帰化 I・II・III・IV 20024.
 路傍や空き地に生育するヨーロッパ・西アジア原産の小型の1年草。岡田山ではここ10年ほどの間に目立つようになり、各所の庭園草地や路傍に普通。
75. *Phalaris arundinacea* L. クサヨシ
 在来 目録1・2 II・III⁺・IV KC (C) 19384, 19776, 20049.
 河川や湿地に生育する大型の夏緑多年草。岡田山では、II地区や四十谷川沿いの半陰の林縁など、流水の無いところに小集団がみられる。
76. *Agrostis stolonifera* L. ハイコヌカグサ
 帰化 III・IV 19854.
 Creeping bentgrassとして芝生や緑化用に播種され、路傍に生育するヨーロッパ原産の多年草。岡田山では台地面に位置するIII・IV地区の路傍や庭園にやや稀にみられる。
77. *Agrostis gigantea* Roth コヌカグサ
 帰化 I・II・III・IV 19144, 19199, 19402, 19403, 20065.
 Redtopとして緑化用に播種され、路傍や空き地に生育するユーラシア原産の多年草。多種多様な系統があり、分類学的な整理が必要とされている(長田 1993)。岡田山では各所の路傍にごく普通。
78. *Agrostis clavata* Trin. ヤマヌカボ
 在来 I・II・III・IV 19044, 19044, 19128, 19737.
 明るい草地に生育する小型の多年草。岡田山では中庭をはじめとして、各所の庭園草地にごく普通。
 Sl. subsp. *matsumurae* (Hack. ex Honda) T. Tateoka ヌカボ
 在来 I・II 19117, 20026.

田畑の周囲や湿った草地に生育する亜種で、2枚の苞穎がほとんど同長であることで基準亜種のヤマヌカボから区別される。岡田山では、音楽館周辺の湿った路傍や草地などにやや稀。

- H3. *Agrostis* × *dimorpholemma* Ohwi (*A. castellana* × *A. capillaris*) バケヌカボ (雑種)
帰化 II・III・IV 19136, 19255, 19787, 19870.
イペリアヌカボ *A. castellana* Boiss. et Reut.とトイトコヌカグサ *A. capillaris* L.の雑種と推定される多年草 (木場 2003)。岡田山では各所の路傍にやや稀。
79. *Polypogon fugax* Nees ex Steud. ヒエガエリ
在来 I・II・III・IV 19045, 19711.
河川や水辺に生育する1年草。岡田山では音楽館周辺の側溝等に群生するが、阪神淡路大震災後に目立つようになったことと、その旺盛な生育状態から、在来の個体群ではなく外来の系統と推測される。
80. *Alopecurus aequalis* Sobol. var. *amurensis* (Kom.) Ohwi スズメノテッポウ
在来 目録2 I・II†・III†・IV KC (C) 19118, 19704, 19973, 20027, KK73.
水田に生育する1年草で、代表的な水田雑草のひとつ。本学院が所有していた放棄水田 (岡田山3丁目) に群生していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。近辺の水田や水路には今も普通にみられ、四十谷川の側壁などにも稀にみられる。
81. *Bromus diandrus* Roth ヒゲナガスズメノチャヒキ
帰化 III 19342.
路傍に生育するヨーロッパ原産の1年草。岡田山ではIII地区の庭園等に稀に発生する。
82. *Bromus japonicus* Thunb. ex Murray スズメノチャヒキ
在来 目録2 I 20178.
路傍や空き地に生育する1年草。岡田山ではI地区で記録があるが現在のみならず、構外の岡田山1丁目の路傍に群生している。ユーラシアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている (竹松・一前 1997)。
83. *Bromus sterilis* L. アレチノチャヒキ
帰化 I・III 20022.
路傍に生育するヨーロッパ・西アジア原産の1年草。岡田山では緑化法面の周辺でしばしば発生する。
84. *Bromus catharticus* Vahl イヌムギ
帰化 目録1・2 I・II・III・IV 19092, KK35, 19359, 19677.
路傍や畑などに生育する南アメリカ原産の1~2年草。岡田山では、各所の路傍や空き地にごく普通。
85. *Elymus racemifer* (Steud.) Tzvelev アオカモジグサ
在来 I・II・III・IV 19393, KK77.
田畑の周辺や路傍に生育する多年草。岡田山では各所の路傍や庭園。林縁等にごく普通。
86. *Elymus tsukushiensis* Honda var. *transiens* (Hack.) Osada カモジグサ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19093, 19382, KK78.
田畑の周辺や路傍に生育する多年草。岡田山では各所の路傍や空き地に普通。東アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている (竹松・一前 1997)。

Centothecoideae ササクサ亜科

87. *Lophatherum gracile* Brongn. ササクサ
在来 目録1・2 I・II・III・IV KC (D) 19287, KK138.
明るい二次林や林縁に生育する夏緑多年草。岡田山では各所の林縁にやや稀。

Arundinoideae ダンチク亜科

88. *Molinia japonica* Hack. ヌマガヤ
在来 目録2 I†・II KC (B) 19925, 20188*。
湿地に生育する大型の夏緑多年草。東山の山脚部にある湧水湿地に10株程度が生育する。近辺では西宮市甲山湿原に群生するが、岡田山のヌマガヤ群落は西宮市南部に残る群落として貴重である。県内の分布はおもに播磨南部から阪神間の県南東部に偏っている (藤本 1993, 1995)。
89. *Phragmites australis* (Cav.) Trin. ex Steud. ヨシ
在来・絶滅 目録1・2 I†・II†・IV† KC (E) 19542, 19599。
河川の下流域や湖岸などに生育する大型の夏緑多年草。岡田山では、四十谷川沿いに少数個体がみられたが、数年前に絶滅した。
90. *Phragmites japonica* Steud. ツルヨシ
在来 目録2 IV KC (A) 19833S, 19932, 19945。
河川の中・上流域に生育する大型の夏緑多年草。岡田山とその周辺では、四十谷川沿いに少数個体のみられる。

Chloridoideae ヒゲシバ亜科

91. *Eragrostis minor* Host コスズメガヤ
帰化 I・III・IV 19455, 19877, KK113, 20144。
路傍や空き地に生育するユーラシア原産の1年草。岡田山では谷門広場や西側崖地下の空き地にやや稀にみられる。
92. *Eragrostis ferruginea* (Thunb.) P. Beauv. カゼクサ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19297, 19512。
路傍や空き地に生育する多年草。岡田山では、踏圧のかかる路傍やグラウンドなどに多い。
93. *Eragrostis multicaulis* Steud. ニワホコリ
在来 目録1・2 I・III・IV 19151, 19838。
路傍に生育する小型の1年草。岡田山ではグラウンドや各所の路傍に普通。
94. *Eragrostis curvula* (Schrud.) Nees シナダレスズメガヤ
帰化 I・III・IV 19171, 19448。
Weeping lovegrassとして緑化用に播種され、路傍や空き地に生育する南アフリカ原産の多年草。岡田山では法面緑化材として導入された。河川などに繁茂して生態系に重大な影響を与えており、環境省によって要注意外来生物に指定されている。
95. *Eleusine indica* (L.) Gaertn. オヒシバ
在来 目録1・2 I・II・III・IV 19251, KK119。
路傍や空き地に生育する多年草。岡田山では各所の路傍にごく普通で、グラウンドの一部で優占する。
96. *Sporobolus fertilis* (Steud.) Clayton ネズミノオ
在来 目録1・2 III・IV 19513, KK202。

- 田畑の周辺や路傍、草地など、いたる所に生育する多年草。岡田山ではグラウンドにやや普通。
- V2. var. *purpureo-suffusus* (Ohwi) Ohwi ムラサキネズミノオ
 在来 I・II・III・IV 19020, 19514, KK168, KK203.
 花序が長く、小穂が紫色を帯びて主軸から分枝する変種であるが、基準変種 var. *fertilis* との間に中間形が多い。岡田山では庭園や路傍、空き地等にごく普通。
97. *Muhlenbergia japonica* Steud. ネズミガヤ
 在来 I・IV KC(B) 19056, 19957, KK204, KK211, 20139.
 路傍や草地に生育する小型の多年草。岡田山では音楽館周辺や理学館周辺などに稀にみられる。
98. *Cynodon dactylon* (L.) Pers. ギョウギシバ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19152, KK91.
 Bermuda grassとして芝生に用いられ、路傍や草地に生育する匍匐生の多年草。世界の熱帯～温帯に広く分布し、岡田山ではグラウンドの一部で優占するとともに各所の路傍にごく普通。
99. *Zoysia japonica* Steud. シバ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19742.
 芝生に用いられ、路傍や草地に生育する多年草。岡田山ではグラウンド、中庭等で優占するとともに、各所の庭園草地にごく普通。自生の個体群もあるが、グラウンドや庭園にはいろいろな系統のものが植栽されている。
100. *Zoysia pacifica* (Goudswaard) M. Hotta et S. Kuroki コウライシバ
 逸出 目録1・2 II・IV 20108.
 芝生に用いられ、路傍や草地に生育する匍匐生の多年草。岡田山ではグラウンドの一部で優占するほか、各所の庭園草地にやや普通。本来の自生地は熱帯・亜熱帯域の沿海地であり、岡田山のものはシバ貼り等の植栽によるものである。

Panicoideae キビ亜科

101. *Oplismenus undulatifolius* (Ard.) Roem. et Schult. ケチヂミザサ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19482, KK187.
 田畑の周辺や路傍、林縁などに生育する多年草。岡田山では各所の林縁や路傍に普通。
- V3. var. *japonicus* (Steud.) Koidz. コチヂミザサ
 在来 目録1・2 I・III・IV 19483, 19543.
 葉面や稈に毛が少ないことで基準変種から区分される。林縁や樹陰下など半陰の環境に多く、岡田山では各所の林縁に普通。
102. *Panicum bisulcatum* Thunb. ヌカキビ
 在来 I・II・III・IV 19311, 19574, 19592, KK188.
 湿地や水田、湿った路傍等に生育する1年草。岡田山では、各所の路傍や空き地、植え込み等やや普通。
103. *Panicum dichotomiflorum* Michx. オオクサキビ
 帰化 I・IV 19281, 19600, KK189.
 路傍や空き地に生育する北アメリカ原産の大型の1年草。岡田山では、工事現場や西側崖地下の空き地などにしばしば発生する。
104. *Sacciolepis indica* (L.) Chase ハイヌメリ
 在来 目録2 I・II KC(C) 19050, 19479, 19926.

湿地に生育する1年草。岡田山では、音楽学部1号館周辺および東山脚部の側溝に少数個体が生育する。

105. *Echinochloa crus-galli* (L.) P. Beauv. イヌビエ

在来 I・II・IV 19314, 19477, KK169.

全世界の熱帯～温帯に広く分布し、水田や畑、湿地、湿った空き地などに生育する1年草。阪神・淡路大震災後しばらくの間は、各所に生育がみられたが、最近では少ない。アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている（竹松・一前 1997）。

V4. var. *aristata* Gray ケイヌビエ

在来 目録2 I・II† 19903, KK140.

水田や湿地に生育する1年草で、全体大型で小穂に長い芒を持つことで基準変種から区別される。岡田山では西側崖地下の空き地にしばらく発生した。

V5. var. *praticola* Ohwi ヒメイヌビエ

在来 I・II・III・IV 19237, 19249, 19444, 19601, KK139.

路傍や空き地に生育する1年草で、全体小型で乾いた土地に生える性質があることで基準変種から区別される。岡田山では各所の路傍にやや稀。

106. *Paspalum distichum* L. キシュウスズメノヒエ

帰化 I・II・IV 19238, 19274, 19456, 19879.

全世界の熱帯～暖温帯に広く分布し、水湿地に生育する多年草。周辺域の水田等に群生し、岡田山では音楽学部1号館南側の側溝に群生する。

107. *Paspalum notatum* Flügge アメリカスズメノヒエ

帰化 IV KK131.

路傍に生育する南アメリカ原産の多年草。岡田山では、法面緑化材の夾雑種子に由来すると思われる個体が、IV地区の路傍に稀にみられる。

108. *Paspalum urvillei* Steud. タチスズメノヒエ

帰化 I 15015, 19544, 19860.

路傍や空き地に生育する南アメリカ原産の大型の多年草。岡田山では、阪神淡路大震災以降、今津西線沿いの道路法面や路傍にみられるようになった。

109. *Paspalum thunbergii* Kunth ex Steud. スズメノヒエ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19260, 19447, KK141.

田畑の周辺や路傍などに生育する多年草。岡田山では、各所の庭園草地に普通であるが、最近では次のシマスズメノヒエ *P. dilatatum* Poir. の方が目立つようになってきた。東アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている（竹松・一前 1997）。

110. *Paspalum dilatatum* Poir. シマスズメノヒエ

帰化 I・II・III・IV 19142, 19810.

路傍に生育する南アメリカ原産の多年草。岡田山ではグラウンドをはじめ各所の草地にごく普通。

111. *Setaria viridis* (L.) P. Beauv. エノコログサ

在来 目録1・2 I・II・III・IV 19153, 19889, KK136.

世界の亜熱帯～温帯に広く分布し、畑や路傍に生育する1年草。岡田山では、各所の路傍や空き地、植え込み等にやや普通。ヨーロッパの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている（竹松・一前 1997）。

112. *Setaria faberi* R. A. W. Herrm. アキノエノコログサ
 在来 目録2 I・II・III・IV 19315, 19521, 19933, KK120.
 路傍や空き地に生育する1年草。岡田山では、各所の路傍や空き地に普通。アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1997)。
113. *Setaria glauca* (L.) P. Beauv. キンエノコロ
 在来・絶滅 目録1・2 I[†]・II[†]・IV[†] KC (E) 19532, 19588.
 田畑の周囲や路傍に生育する1年草。阪神・淡路大震災の後に、緑化法面等に一時的に発生したが、現在は全くみられない。本種は次種に比べて、農山村に多く都市部に少ない傾向があるので、岡田山本来の個体群は既に絶滅したものと考えられる。近辺では西宮市山田町の棚田土手に生育する。
114. *Setaria pallide-fusca* (Schumach.) Stapf et C. E. Hubb. コツブキンエノコロ
 在来 目録2 I・II・III・IV 19284, 19476, 19520, KK121.
 世界の熱帯～温帯に広く分布し、畑や路傍、空き地などに生育する1年草。岡田山では、各所の路傍や空き地にやや普通。
- H4. *Setaria × pycnocomma* (Steud.) Henrard ex Nakai (*S. italica* × *S. viridis*) オオエノコロ(雑種)
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19415, 20062.
 栽培種のアワ *S. italica* (L.) P. Beauv. とエノコログサとの雑種とされる1年草。岡田山では各所の路傍や植え込みにやや稀にみられる。
115. *Digitaria radicata* (C. Presl) Miq. コメヒシバ
 在来 目録2 I・II・III・IV 19252, KK124.
 半陰の路傍に生育する1年草。岡田山では建物の周囲などにやや普通。
116. *Digitaria ciliaris* (Retz.) Koeler メヒシバ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19250, KK114, KK122.
 世界の熱帯～温帯に広く分布し、路傍や田畑の周囲に生育する1年草。日本では代表的な畑雑草で、岡田山でも各所の路傍や空き地、植え込み等に普通。
117. *Digitaria violascens* Link アキメヒシバ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19310, 19484, KK159.
 路傍や草地に生育する1年草。岡田山では秋季のグラウンドで優占するほか、各所の路傍や庭園草地にごく普通。
118. *Pennisetum alopecuroides* (L.) Spreng. チカラシバ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19522, 19546.
 路傍や空き地に生育する多年草。岡田山ではグラウンドなど踏圧のかかる環境にやや普通。東アジアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1997)。
119. *Isachne globosa* (Thunb. ex Murray) Kuntze チゴザサ
 在来 目録1・2 I・II KC (C) 20186.
 湿地に生育する多年草。岡田山では、音楽学部1号館北側および東山脚部の側溝に群生する。
120. *Arundinella hirta* (Thunb.) Tanaka トダシバ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19052, 19506.
 ススキ草原など、明るい二次草原や林縁に生育する多年草。音楽学部1号館北側および正門車道沿いの草地に群生するほか、各所の林縁にやや普通。

- V6. var. *ciliata* (Thunb.) Koidz. ウスゲトダシバ
 在来 I・Ⅲ・Ⅳ KC (C) 19485, 19515.
 全草に毛が少ない変種。岡田山では藤棚付近の土手に集団がみられる。
121. *Spodiopogon sibiricus* Trin. オオアブラスキ
 在来・絶滅 I† KC (E) 19524, 19605*, 19958.
 冷温帯の二次草原に生育する大型の多年草。文学1号館東側の林縁に少数個体が生育していたが、近年ではみられなくなった。県内での分布は大部分が県西部および北部に偏っている (藤本 1995)。
122. *Miscanthus sinensis* Anderss. ススキ
 在来 目録1・2 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 19172, 19486, 19934.
 東アジアの熱帯～温帯に分布し、二次草原で優占する大型の多年草。岡田山では、音楽学部1号館北側および正門車道沿いの草地に群生するほか、各所の林縁にやや普通。
- F1. forma *gracillimus* (Hitchc.) Ohwi イトスキ
 在来 目録1・2 I・Ⅱ・Ⅲ 19594, 19959.
 葉の幅が細い品種で、より乾いた草地に生育する。基準品種に混じってみられるが少ない。
123. *Imperata cylindrica* (L.) P. Beauv. var. *koenigii* (Retz.) Pilg. チガヤ
 在来 目録1・2 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 19094, KK60.
 アジアの熱帯～暖温帯に広く分布し、原野や草地、路傍などに生育する多年草。岡田山では各所の庭園や路傍、草地にごく普通。
- *目録2にウンヌケ *Eulalia speciosa* (Debeaux) Kuntze (I地区) の記録があるが、本種は兵庫県では加古川と市川に挟まれた禿山地帯にのみ分布する (野寄ほか 1998)。西宮市甲山周辺には、同属のウンヌケモドキ *E. quadrinervis* (Hack.) Kuntze が分布しているので、これが岡田山にも生育していた可能性はあるが、標本が残されていないので確認できない。
124. *Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz. ササガヤ
 在来 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 19509, 19602.
 林縁や半陰の草地に生育する多年草。岡田山では各所の林縁に普通。
125. *Microstegium vimineum* (Trin.) A. Camus forma *willdenowianum* (Nees.) Osada ヒメアシボン
 在来 目録1・2 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 19054, 19595.
 湿地の周囲や林縁に生育する1年草。小穂に芒を欠くことで基準品種のアシボン forma *vimineum* から区別される。岡田山では各所の路傍や林縁にやや普通。
126. *Andropogon virginicus* L. メリケンカルカヤ
 帰化 目録1・2 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 19312, KK190.
 路傍や空き地などに生育する北アメリカ原産の多年草。岡田山では各所の路傍や空き地にごく普通。
127. *Cymbopogon tortilis* (C. Presl) Hitchc. var. *goeringii* (Steud.) Hand.-Mazz. オガルカヤ
 在来 目録1・2 I KC (B) 19523, 19589, 19949.
 亜熱帯～暖温帯の乾いた草地に生育する多年草。岡田山では音楽学部1号館北側の草地に小集団がみられる。
128. *Arthraxon hispidus* (Thunb.) Makino コブナグサ
 在来 目録2 I・Ⅱ† KC (B) 20076.
 水田や湿地に生育する1年草。岡田山では音楽学部1号館北側の側溝沿いに少数個体がみられる。岡

岡山産の個体は、小穂に長芒を持つホンコブナグサ *forma japonicus* (Regel) Ohwi に相当する (藤本 1995).

129. *Coix lacryma-jobi* L. ジュズダマ

在来・絶滅 目録 1・2 I[†]・II[†]・IV[†] KC (E) 19880, 19917.

水田や湿地に生育する大型の1年草。本学院が所有していた放棄水田(岡田山3丁目)に生育していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。熱帯アジアの原産と推定され、古い時代に渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1997)。

119. *Arecaceae* (Palmae) ヤシ科

130. *Trachycarpus fortunei* H. Wendl. シュロ

逸出 目録 1・2 I・II・III・IV 20095S.

庭木として植栽される中国および九州南部原産(大場 1989)の常緑小高木。暖温帯域の森林に逸出しており、岡田山でも各所の森林にごく普通。

131. *Trachycarpus wagnerianus* Hort. ex Becc. トウジュロ

帰化 I・II・III

庭木として植栽される中国南部原産の常緑小高木。岡田山では、庭園の植栽個体からの逸出と思われる稚樹が森林内にやや稀にみられるが、その数は前種 *T. fortunei* に比べてはるかに少ない。

120. *Araceae* サトイモ科

132. *Pinellia ternata* (Thunb.) Ten. ex Breitenb. カラスビシャク

在来 目録 1・2 I・II・III・IV 19355, 19743.

畑や路傍などに生育する多年草。岡田山では、各所の路傍や植え込み等にやや普通。

133. *Arisaema thunbergii* Blume subsp. *urashima* (H. Hara) H. Ohashi et J. Murata ウラシマソウ

在来 II・III KC (B) 19350, 19985.

海岸付近の森林や林縁に生育する多年草。岡田山ではダッドレー館周辺に少数個体がみられる。

134. *Arisaema ringens* (Thunb.) Schott ムサシアブミ

在来 III HY (B), KC (A) 20280*, 20085.

海岸付近の森林に生育する夏緑多年草。岡田山では谷門の森に少数個体がみられるが、本来の自生か否かは不明である。

121. *Typhaceae* ガマ科

135. *Typha latifolia* L. ガマ

在来 IV KC (A) 20131.

湖沼や河川の浅水域に生育する大型の夏緑多年草。四十谷川沿いの湿地に少数個体がみられる。

122. *Cyperaceae* カヤツリグサ科

Caricoideae スゲ亜科

136. *Carex arenicola* F. Schmidt クロカワズスゲ

在来 I・II・IV KC (C) 19405, 19827*, 20097, 20208.

湿地に生育する多年草。岡田山では、音楽館周辺の側溝沿いや湿った路傍、大学中庭などにやや稀。

137. *Carex gibba* Wahlenb. マスクサ

在来 I・II・III・IV 19041, 19298.

林縁や路傍に生育する多年草。岡田山では各所の林縁や樹木のある庭園にごく普通。

138. *Carex lenta* D. Don ex Spreng. ナキリスゲ
 在来 I・II・III・IV 19323, KK206.
 照葉樹林や二次林, 林縁などに生育する常緑多年草。岡田山では林内や林縁にごく普通。
139. *Carex shimidzensis* Franch. アズマナルコ
 在来・逸出? II 20184.
 河川や湖岸などの水湿地に生育する大型の多年草。音楽学部1号館付近の側溝沿いに少数個体が生育するが, 本来の自生か否かは明らかでない。
140. *Carex ciliatomarginata* Nakai ケタガネソウ
 在来 I・III KC (B) 19379, 19721.
 明るい二次林内や林縁に生育する多年草。岡田山では万葉池付近と谷門の樹林に小集団がみられる。
141. *Carex pudica* Honda マメスゲ
 在来 II KI (C), HY (C), KC (B) 20177.
 山間の湿地の周囲に生育する常緑多年草。東山の湧水湿地に小集団がみられる。近辺では西宮市甲山湿原に多産する。
142. *Carex tristachya* Thunb. モエギスゲ
 在来 I・II・III・IV 19027, 19712.
 明るい二次林内や林縁に生育する多年草。岡田山では各所の林縁や二次林内にごく普通。
143. *Carex mitrata* Franch. var. *aristata* Ohwi ノゲヌカスゲ
 在来 I・II・III・IV 19698, 19964, 19984, 20015.
 林縁や路傍に生育する多年草。岡田山では各所の林縁や樹木のある庭園草地に普通であるが, 草刈り等の手入れが行き届いたところに多くみられる。
144. *Carex leucochlora* Bunge アオスゲ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19095, 19678, 19691, 19707, 20045.
 田畑の周辺や草地, 林縁などに生育する多年草。岡田山では, 各所の林縁や庭園草地等に普通。
145. *Carex puberula* Boott イトアオスゲ
 在来 II・III・IV KC (C) 19039, 19715, 20096.
 田畑の周辺や林縁などに生育する多年草。岡田山では, 各所の林縁に稀にみられる。
146. *Carex nervata* Franch. et Sav. シバスゲ
 在来 目録1・2 I・III・IV KC (B) 19993.
 明るい草地に生育する多年草。岡田山では, グラウンド西側の土手およびケンウッド館周辺の庭園草地, 路傍に稀。
147. *Carex lanceolata* Boott ヒカゲスゲ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV KK16.
 明るい二次林や林縁に生育する多年草。岡田山では各所の林縁にやや普通であるが, 森林の遷移の進行に伴って, 個体数が減少しつつある。
148. *Carex maculata* Boott タチスゲ
 在来 I・II・III・IV KC (D) 19046, 19137, 19723, KK67.
 湿地に生育する多年草。岡田山では音楽学部周辺の側溝, 四十谷川沿いなどにやや稀にみられる。

149. *Carex transversa* Boott ヤワラスゲ
在来 目録2 I・III† KC (B) 20207.
湿った路傍や林縁に生育する多年草。岡田山ではI地区の樹陰に1株のみみられる。

Cyperoideae カヤツリグサ亜科

150. *Rhynchospora rubra* (Lour.) Makino イガクサ
在来・絶滅 目録2 I† KC (E)
貧栄養湿地に生育する多年草。岡田山では南山および西山にあった湧水湿地に生育していたようであるが(岡田山の自然編集委員会編 1974), 遷移の進行により湿地自体が消滅した。標本や写真は残されていない。

151. *Rhynchospora brownii* Roem. et Schult. トラノハナヒゲ
在来 I KI (B), HY (B), KC (B) 19453, 19996*.
沿海域の貧栄養湿地に生育する多年草。岡田山では西山の西斜面に群生地がある。この群落は湧水が浸み出す切り取り法面に成立しており、当地域のかつての自然環境を知る上で貴重な群落である。

*目録1・2にコイヌノハナヒゲ *Rhynchospora fujiana* Makino (I・II地区), 目録2にイヌノハナヒゲ *R. rugosa* (Vahl) Gale, オオイヌノハナヒゲ *R. lauriei* Franch., ミカヅキグサ *R. alba* (L.) Vahl (以上, I・II地区)の記録があり, また, 岡田山の自然編集委員会編(1974; p. 13, 表4)にはイトイヌノハナヒゲーノギリラン群落の構成種としてイトイヌノハナヒゲ *R. faberi* C. B. Clarke, イガクサがあげられている。しかし, 何れの種も今の岡田山にはみられず, この仲間で現存するのは上記のトラノハナヒゲと近縁のノグサ *Schoenus apogon* Roem. et Schult.のみである。何れも貧栄養湿地に特有の種なので, 湿地の減少により絶滅した可能性はあるが, ここ30年間に種が入れ替わったとは考えにくい。西宮市甲山湿原には, コイヌノハナヒゲ, イトイヌノハナヒゲ, イヌノハナヒゲ, ミカヅキグサが現存するので, これらが岡田山にも生育していた可能性はあるが, 写真や標本が残されていないので確認できない。

152. *Schoenus apogon* Roem. et Schult. ノグサ
在来 II KC (A) 19126, 19763*.
貧栄養湿地に生育する小型の多年草。岡田山では東山脚部の湧水湿地にヌマガヤとともに群生している。周囲の森林の発達により, 湧水量が減ったのと陽当たりが悪くなったことが原因で, 近年は個体数が減少傾向にある。

153. *Fimbristylis miliacea* (L.) Vahl ヒデリコ
在来・絶滅 I† KC (E) KK162.
水田や湿地に生育する1年草。本学院が所有していた放棄水田(岡田山3丁目)に群生していたが, 土地の売却・埋め立てにより消滅した。

154. *Fimbristylis subbispicata* Nees et Meyen ヤマイ
在来 I・II KC (B) 19472, 19533.
湿地に生育する多年草。岡田山では音楽学部1号館南側の側溝沿いに小集団がみられるほか, 市道今津西線の切り取り法面にも少数個体がみられる。

155. *Fimbristylis dichotoma* (L.) Vahl var. *tentsuki* T. Koyama テンツキ
在来 I KC (C) KK171.
湿地や湿った路傍に生育する1年草。西側崖地下の空き地(市有地)に小集団がみられる。

156. *Scirpus wichurai* Böckeler forma *concolor* (Maxim.) T. Koyama アブラガヤ
 在来 目録2 I・IV KC (C) 19547, KK144.
 湿地に生育する多年草。岡田山では四十谷川沿いの小湿地に少数個体が生育するほか、市道今津西線の切り取り法面にも小集団がみられる。
157. *Cyperus brevifolius* (Rottb.) Hassk. アイダクグ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19267, 19891, KK115, KK125.
 湿地や湿った路傍に生育する小型の多年草。岡田山では、各所の路傍や庭園などにやや普通。目録1・2では、小穂の鱗片に刺毛がないヒメクグ var. *leiolepis* (Franch. et Sav.) T. Koyama として記録されているが、岡田山産の個体は放棄水田のものも含めて全て、鱗片の竜骨に刺毛を持つ基準変種のアイダクグ var. *brevifolius* である。
158. *Cyperus amuricus* Maxim. var. *japonica* Miq. コチャガヤツリ
 在来 I・IV 19881, KK132, KK160.
 畑や路傍に生育する1年草。岡田山では、理学館西側の畑や西側崖地下の空き地にやや稀にみられる。
159. *Cyperus microiria* Steud. カヤツリグサ
 在来 目録2 I・II・III・IV 19204, 19583.
 田畑や湿った路傍に生育する1年草。岡田山では、理学館西側の畑をはじめ、各所の路傍にやや普通。
160. *Cyperus iria* L. コゴメガヤツリ
 在来 I・II・III・IV 19228, KK116, KK142.
 世界の熱帯～温帯に広く分布し、田畑や路傍に生育する1年草。岡田山では、理学館西側の畑をはじめ、各所の路傍や空き地、植え込み等に普通。
161. *Cyperus rotundus* L. ハマスゲ
 在来 目録1・2 I・II・III・IV 19206, 19852, KK170.
 世界の熱帯～温帯に広く分布し、路傍や草地に生育する多年草。岡田山ではグラウンドをはじめ各所の庭園や路傍にごく普通。ユーラシアの原産と推定され、古い時代に大陸から渡来した史前帰化植物と考えられている(竹松・一前 1997)。
162. *Cyperus compressus* L. クグガヤツリ
 在来 I・II・III・IV 19057, 19205, 20145.
 世界の熱帯～暖温帯に広く分布し、路傍に生育する小型の1年草。岡田山ではグラウンドをはじめ各所の路傍にやや稀にみられる。
163. *Cyperus haspan* L. コアゼガヤツリ
 在来・絶滅 I† KC (E) 19313.
 湿地に生育する多年草。岡田山では万葉池に少数個体が生育していたが、近年はみられなくなった。
164. *Cyperus difformis* L. タマガヤツリ
 在来 I・IV 19283, 19549x2, KK161.
 水田や湿地に生育する1年草。本学院が所有していた放棄水田(岡田山3丁目)に群生していたほか、市道今津西線沿いの側溝や切り取り法面などに時折発生する。
165. *Cyperus eragrostis* Lam. メリケンガヤツリ
 帰化 I・II・III 19143, KK143.
 湿地や路傍に生育する熱帯アメリカ原産の多年草。岡田山では各所の路傍にしばしば発生するが長く

は定着しない。

166. *Cyperus nipponicus* Franch. et Sav. アオガヤツリ
在来・絶滅 I[†] KC (E) 20146.
水田や浅い溜池等の湿地に生育する1年草。本学院が所有していた放棄水田（岡田山3丁目）に少数個体が生育していたが、土地の売却・埋め立てにより消滅した。
167. *Cyperus polystachyos* Rottb. イガガヤツリ
在来 I・II 19920, 19928, KK191.
湿地や路傍に生育する1年草。岡田山ではI・II地区の路傍や空き地にしばしば発生する。
168. *Cyperus sanguinolentus* Vahl カワラスガナ
在来 I KC (C) 19548x2, 19935.
湿地に生育する1年草。岡田山では、市道今津西線の法面の湧水地に少数個体が生育する。
169. *Cyperus flavidus* Retz. アゼガヤツリ
在来 I KC (C) 19487, 19534.
水田や湿地に生育する1年草。岡田山ではオルチン記念音楽館東側の土手に小集団がみられるが、本来の自生か否かは明らかでない。

123. Orchidaceae ラン科

170. *Platanthera minor* (Miq.) Rchb. fil. オオバノトンボソウ
在来・絶滅 II[†] KC (E)
暖温帯の二次林に生育する夏緑多年草。東山の二次林に1個体のみ生育していたが、現在はみられず、絶滅したものと思われる。標本は採れていない。西宮市甲山の森林には普通にみられる。
171. *Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume キンラン
在来・絶滅 III[†] J (Vu), KI (C), HY (C), KC (E) 19961S, 20180.
下部温帯の明るい二次林に生育する夏緑多年草。谷門の森に1個体のみ生育していたが、現在はみられない。近辺では、西宮市甲山にわずかにみられる。
172. *Cephalanthera erecta* (Thunb.) Blume ギンラン
在来・絶滅 II[†] HY (C), KC (E)
温帯の明るい二次林や林縁に生育する夏緑多年草。旧清思庵（II地区）付近の林縁に1個体のみ生育していたが、現在はみられない。標本は採れていない。近辺では、西宮市甲山にやや稀にみられる。
173. *Epipactis thunbergii* A. Gray カキラン
在来 目録1・2 II HY (C), KC (A) 20078S, 20126.
湿地に生育する夏緑多年草。東山の湧水湿地に少数個体が生育する。近辺では、西宮市甲山湿原に多産する。
174. *Goodyera schlechtendaliana* Rchb. fil. ミヤマウズラ
在来・絶滅 II[†] KC (E)
温帯の林内に生育する小型の多年草。東山の二次林内に1個体のみ生育していたが、現在はみられない。標本は採れていない。近辺では、西宮市甲山の二次林にやや稀にみられる。
175. *Spiranthes sinensis* (Pers.) Ames var. *amoena* (M. Bieb.) H. Hara ネジバナ
在来 目録2 I・II・III・IV 19154, KK92.

田畑の周囲や明るい草地に生育する小型の夏緑多年草。岡田山では、中庭をはじめとして各所の庭園草地に普通。

176. *Liparis nervosa* (Thunb.) Lindl. コ克蘭

在来 目録 1・2 I・II[†]・III・IV KC (B) 19980*, 19863.

暖温帯の照葉樹林に生育する夏緑多年草。岡田山では、南山や谷門の森のような発達した森林内に小集団がみられるが、近年は個体数が減少しつつある。

177. *Cymbidium goeringii* (Rchb. fil.) Rchb. fil. シュンラン

在来 目録 1・2 I・II・III・IV KC (B) 19661, 19974.

温帯の二次林に生育する常緑多年草。岡田山では、各所の森林内にみられるが、個体数は少ない。

補遺

12. Pteridaceae イノモトソウ科

46. *Pteris dispar* Kunze アマクサシダ

在来 II KC (A) 20221.

暖温帯の照葉樹林に生育する常緑シダ。ダッドレー館南側の林縁に1株のみ生育しているのが見つかったが、本来の自生か否かは明らかでない。兵庫県内の産地は比較的少ない(福岡ほか編 1999)。

16. Thelypteridaceae ヒメシダ科

47. *Thelypteris dentata* (Forssk.) E. P. St. John イヌケホシダ

在来・逸出 I・II 19015S, 20220.

暖温帯に生育する常緑シダ。以前に正門からの車道沿い側溝に幼个体(19015)がみられたが、成熟个体の標本が得られなかったため第I報(野寄ほか 2006a)には収録しなかった。近年、近辺の川や畑の石垣などにやや普通にみられるようになり、本学の正門付近でも生育が確認された。熱帯を中心に分布するシダで、日本では九州、四国南部、紀伊半島南部などが本来の自生地であるが、神戸周辺では河川の石垣等を中心に広がりつつある(白岩 1997)。

31. Polygonaceae タデ科

273. *Persicaria capitata* (Buch.-Ham. ex D. Don) H. Gross ヒメツルソバ

帰化 III・IV 20223.

観賞用に植栽され、都市部の石垣や路傍で急速に広がりつつあるヒマラヤ原産の多年草。最近、四十谷川の側壁や石垣等への定着が確認された。

35. Portulacaceae スベリヒユ科

274. *Talinum triangulare* (Jacq.) Willd. ハゼラン

帰化 II・III

観賞用に植栽され、都市の路傍で急速に広がりつつある中央アメリカ原産の夏緑多年草。岡田山では、近年、東側外周道路沿いの石垣や路傍で稀にみられるようになった。

52. Brassicaceae (Cruciferae) アブラナ科

275. *Lepidium didymum* L. カラクサガラシ (カラクサナズナ)

帰化 II・III・IV 19036, 19122, 19750, KK20.

路傍や空き地に生育するユーラシア大陸原産の1年草。第I報(野寄ほか 2006a)では一時帰化種としていたが、最近では各所の路傍でみられるようになった。

61. Euphorbiaceae トウダイグサ科

Phyllanthoideae コミカンソウ亜科

276. *Phyllanthus tenellus* Roxb. ナガエコミカンソウ

帰化 I

近年、都市部の路傍で急速に広がりつつある東アフリカ原産の1年草。周辺域の市街地の路傍では以前から目立ち始めていたが、岡田山でも近年、正門付近の路傍で毎年発生している。

84. Apiaceae (Umbelliferae) セリ科

Apioideae セリ亜科

277. *Torilis japonica* (Houtt.) DC. ヤブジラミ

在来 I 20219.

路傍や河川に生育する1年草。目録1・2に記録があったが、構内に普通にあるオヤブジラミ *Torilis scabra* (Thunb.) DC.の誤同定と考え、第II報(野寄ほか 2006b)には収録しなかった。近年、正門付近の路傍に少数個体が定着している。

110. Valerianaceae オミナエシ科

163. *Valerianella olitoria* (L.) Poll. ノジシャ

帰化 IV 20222.

湿った草地や路傍に生育するヨーロッパ原産の1年草。最近、四十谷川の側壁に定着しているのが確認された。

111. Asteraceae (Compositae) キク科

Asteroideae キク亜科

164. *Erigeron karvinskianus* DC. ペラペラヨメナ

帰化 I・II・III 20018.

近年、都市部の石垣や路傍で急速に広がりつつある中央アメリカ原産の多年草。第I報(野寄ほか 2006a)では一時帰化種としていたが、最近では各所の路傍や石垣、林縁等に定着している。

165. *Cirsium vulgare* (Savi) Ten. アメリカオニアザミ(セイヨウオニアザミ)

帰化 II・III・IV 20185.

近年、都市部の路傍で急激に広がりつつあるヨーロッパ原産の大型の1年草。第I報(野寄ほか 2006a)では一時帰化種としていたが、最近では各所の路傍でみられるようになった。

引用文献

藤本義昭 1993. 兵庫県のヌマガヤ. 兵庫の植物, No. 3: 15-20.

藤本義昭 1995. 兵庫県イネ科植物誌, 標本に基づく分布図と産地. 249pp. 藤本植物研究所, 神戸.

福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃編 1999. 兵庫県産維管束植物. 人と自然, No. 10: 73-115.

福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃編 2007. 兵庫県産維管束植物9. 人と自然, No. 18: 85-117.

福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃編 2008. 兵庫県産維管束植物10. 人と自然, No. 19: 161-222.

兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課編 2003. 改訂・兵庫の貴重な自然, 兵庫県版レッドデータブック2003. 382pp. 神戸.

神奈川県植物誌調査会編 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1580pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原. 環境庁自然保護局野生生物課編 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物, レッドデータブック8, 植物I(維管束植物). 664pp. 自然環境研究センター, 東京.

勝山輝男 2005. ネイチャーガイド, 日本のスグ. 375pp. 文一総合出版, 東京.

木場英久 2003. カラスムギ連. 「日本の帰化植物」(清水建美編), 252-262. 平凡社, 東京.

木場英久・高橋秀男 2001. ユリ科. 「神奈川県植物誌2001」(神奈川県植物誌調査会編), 191-224. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

小林禰樹・黒崎史平・三宅慎也 1998. 六甲山地の植物誌. 301pp. 神戸市公園緑化協会, 神戸.

- 神戸女学院高等学部理科学研究部編 1967. 岡田山植物目録. 50pp. 西宮.
- 前川文夫 1943. 史前帰化植物について. 植物分類・地理, 13:274-279
- McClintock, D. C. 1982. Two familiar variegated bamboos. *Plantsman*, 4:186-191.
- McClintock, D. C. 1983. New combinations in some temperate bamboos, and a new variety. *Kew Bulletin*, 38:485-486.
- 牧野富太郎 1943. シロバナマンジュシャゲの記. 植物分類・地理, 13:17-19.
- 野寄玲児・熊取谷薫・北川智美・西原光恵 2006a. 神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相 (I). 総論および各論第1部—シダ植物門・種子植物門, 裸子植物亜門—. 神戸女学院大学論集, 52(3):63-90.
- 野寄玲児・熊取谷薫・北川智美・西原光恵 2006b. 神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相 (II). 各論第2部—種子植物門, 被子植物亜門, 双子葉植物綱, 離弁花亜綱—. 神戸女学院大学論集, 53(1):131-164.
- 野寄玲児・熊取谷薫・北川智美・西原光恵 2007. 神戸女学院岡田山キャンパスの高等植物相 (III). 各論第3部—種子植物門, 被子植物亜門, 双子葉植物綱, 合弁花亜綱—. 神戸女学院大学論集, 53(3):93-114.
- 野寄玲児・守屋恵美・佐野夏江. 1998. 東播磨南部におけるススキウンヌケ型二次草原の植物社会学的研究. 植生学会誌, 15:79-93.
- 大井次三郎 1983. 新日本植物誌顕花篇, 改訂版 (北川政夫改訂). 1716pp. 至文堂, 東京.
- 岡田山の自然編集委員会編 1974. 岡田山の生物目録. 「岡田山の自然:六甲山東麓の生物とその生態」, 89-130. 神戸女学院百周年記念「岡田山の自然」出版委員会, 西宮.
- 長田武正 1993. 増補日本イネ科植物図譜. 777pp. 平凡社, 東京.
- レッドデータブック近畿研究会編 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物, レッドデータブック近畿 2001. 164pp. 平岡環境科学研究所, 川崎.
- 迫 静男・丸野克俊 1983. 黒島の植物. 鹿児島大学農学部演習林報告, No. 11:33-78.
- 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫編 1989. 日本の野生植物, 木本II. 305pp. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編 1982. 日本の野生植物, 草本I, 単子葉類. 305pp. 平凡社, 東京.
- 清水建美編 2003. 日本の帰化植物. 337pp. 平凡社, 東京.
- 白岩卓巳 1997. 神戸市街地のシダ. 兵庫の植物, No. 7:53-56.
- 諏訪哲夫 2001. アヤメ科. 「神奈川県植物誌 2001」(神奈川県植物誌調査会編), 234-238. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 鈴木貞雄 1996. 日本タケ科植物図譜, 『日本タケ科植物総目録』増補改訂版. 271pp. 聚海書林, 船橋.
- 竹松哲夫・一前宣正 1997. 世界の雑草III, 単子葉類. 1057pp. 全国農村教育協会, 東京.
- Yamaguchi, H. & Hirai, S. 1987. Natural hybridization and flower color inheritance in *Sisyrinchium rosulatum* Bickn. *Weed Research, Japan*, 32:38-45.

(原稿受理 2009年3月31日)